

大 樹  
JAXA

# 大気球の放球実験中止

## 重りつなぐロープ切れる



【大樹】宇宙航空研究 2日午前6時から町多目「初めてとなる大気球の放球実験」が、準備段階で大気球と開発機構(JAXA)は「的航空公園で、町内では球実験を行う予定だった」重りをつなぐロープが何

らかの不具合で切れ、実験を取りやめて延期を決定した。JAXAでは「残

町航空公園で準備が進んでいた大気球実験。この後、気球と重りをつなぐロープが切れた(2日午前6時すぎ、塩原真撮影)

念な結果になったが、次の実験への1歩にした」としている。

JAXAは今年度から、国内唯一の科学観測気球実験場、三陸大船渡

観測所(岩手県大船渡市)で行ってきた実験を

大樹に移行。第1弾となる今回の実験は科学的要

素を盛り込み、同航空公園での気球の放球、管制、太平洋海上での回収

と一連の作業の確認を目的に、5月中旬から準備を進めてきた。

この日は、体積8万立方分の大型気球に500kgの重りをつなぎ、高度

約30kmまで上昇させるた

め、午前4時ごろから約30人で作業を開始。格納庫内でポリエチレン製の気球にヘリウムガスを注入、直径約20mまで膨らませていた。

重りと気球はロープでつながれた状態で、それぞれ別の台車に載せて外

車から離れた状態で、それぞれ別の台車に載せて外

車から離れた状態で、それぞれ別の台車に載せて外

車から離れた状態で、それぞれ別の台車に載せて外

車から離れた状態で、それぞれ別の台車に載せて外

車から離れた状態で、それぞれ別の台車に載せて外

懸される実験を「掛けた」と話した。5日に実験予定だったが、今回の実験も含め、今後の日程は未定。(北雅貴)

JAXA宇宙科学研究本部の吉田哲也大気球実験室長は「早急に原因を調査して特定し、よの信